

行政経営会議及び市議会全員協議会での意見

1月25日の行政経営会議及び2月8日の市議会全員協議会で、経営戦略の中間検証と見直しについて説明を行いました。その際に出された意見は、次のとおりです。

- ・ 浄化槽からの放流先は基本的に道路側溝となるが、臭気などの苦情も想定されるため、公共下水道計画区域から除外する区域については、住民への説明をしっかりと行ってほしい。
- ・ 区域の縮小に伴い共同住宅の経営等の見込みが変わる。都市計画税の不公平感が出てくるため、丁寧な説明が必要である。
- ・ 都市計画の変更に当たっては、対象となる地域・住民への説明会の開催や鈴鹿市都市計画審議会への説明などの対応が必要になるため、担当部局との調整を行ってほしい。
- ・ 公共下水道事業計画区域の変更に合わせて、鈴鹿市総合雨水対策基本計画の区域にも変更が生じるため、担当部局との調整及び情報共有を行ってほしい。

上記の意見のほかに、人口の試算方法や合併処理浄化槽の補助金等についての質疑がありました。

住民への丁寧な説明を行うとともに、関係部署との調整及び情報共有に努めます。